

### 3.3. 令和6年度 沖縄てんかん拠点病院事業報告書

(2024年4月～2025年3月)

報告者：沖縄赤十字病院脳神経外科部長 沖縄てんかん拠点病院責任者 廣中浩平  
文責：沖縄てんかん拠点病院てんかんコーディネーター 饒波正博

#### 活動報告

平成6年度の運営スタッフの陣容は、てんかん専門医2名（脳神経外科1名、小児科医1名）、てんかんコーディネーター2名（理学療法士1名、医師1名；社会医療法人へいあん平安病院精神科所属）で、各活動に際し病院事務部長が適時サポートに入ることになっている。今年度の様に、年度当初の予定に入っていなかった事業を展開した場合、マンパワー的に困難を感じた。

予定に入っていなかった事業の1つは、てんかん患者のための大麻由来医薬品/薬物/食品の活用についての報告会の開催、もう1つは、第29回沖縄てんかん研究会を主催したことである。後者は、県内てんかん医療関係者の勉強会で、当院は会の立ち上げから協力しているが、今回は主催・運営を担当した。

年2回のてんかん協議会はネットで開催し、年2回のてんかん県民講話は対面で開催した。令和4年度より開催していた月1回の脳波カンファレンスは令和6年8月で終了した。インターネットを利用した参加者拡大を模索していたが、個人情報保護の課題が解決できず、それは叶わなかった。カンファレンスは公開していたが、参加者は固定し内輪の勉強会で始終してしまっただけで悔やまれる。

大麻抽出製剤カンナビジオールの全国治験、令和5年厚生労働省障害者総合福祉推進事業「てんかん診療拠点病院等における心因性非てんかん性発作等の実態把握（指定課題23）」に参加し、経験症例を報告した。

県内のてんかん診療状況は、令和6年4月より琉球大学医学部脳神経外科主任教授に、てんかん専門医が就任した。今後、てんかん手術を行っていくものと思われる。また、てんかん認定医研修施設は3か所あり、当院と琉球大学医学部附属病院の他に民間精神科病院がある。令和6年度から、そちらでビデオ脳波検査が行えるようになった。これまで当院は、てんかん手術、ビデオ脳波を提供できる唯一の医療機関であったが、他院でもこれらが行えるようになり、連携することでいっそう充実したてんかん診療を提供できると考えている。

#### 1) てんかん診療

ほぼ例年通りの診療内容になった。特筆すべきは、紹介患者が大幅に増えたことである。

2024年（令和6年）	
沖縄てんかん拠点病院診療実績（1月～12月）	
てんかん外来	
新紹介患者	123(95)
入院	48(61)
ビデオ脳波	19(22)
てんかんの手術	14(14)
選択的海馬扁桃体切除術	1(6)
側頭葉切除術	0(0)
脳梁離断術	5(2)
迷走神経刺激装置設置術	2(2)
迷走神経刺激装置電池交換	6(4)
頭蓋内電極設置術	0(0)
頭蓋内電極除去術	0(0)

カッコ内数字は2023年実績

#### 2) てんかん患者生活支援

ピアサポートの視点から、患者会を立ち上げるためにニーズ調査を行っている。

#### 3) 地域連携・啓発活動

- ・てんかん県民講話

第1回：令和6年08月25日

式次第

- 1) 13時30分～：講演
  - ・「私のてんかん闘病記」：沖縄赤十字病院てんかんコーディネーター 照屋江里
  - ・「てんかんに対する公的支援」：てんかんコーディネーター 饒波正博
- 2) よろず相談会：日本てんかん協会沖縄支部

第2回：令和7年2月23日；

式次第

- 1) 13時～：講演
  - ・「私のてんかん闘病記」：沖縄赤十字病院てんかんコーディネーター 照屋江里
  - ・「てんかんに対する公的支援」：てんかんコーディネーター 饒波正博
- 2) よろず相談会：日本てんかん協会沖縄支部

**令和6年度 第1回  
てんかん県民講話**

日時：令和6年8月25日(日)  
13:30～16:00

場所：うるま市健康福祉センター  
うるみん(視聴覚室)

13:30～14:00  
講演：てんかん闘病記  
照屋 江里  
沖縄赤十字病院てんかんコーディネーター

14:00～14:30  
講演：てんかんに対する公的支援  
饒波 正博  
医師(沖縄赤十字病院てんかんコーディネーター)

14:30～15:30  
てんかんよろず相談

参加費 無料

主催：沖縄てんかん拠点病院

**令和6年度 第2回 てんかん県民講話**

日時：令和7年2月23日(日) 13:00～15:00

場所：

13:00～13:30 講演：てんかん闘病記  
照屋 江里 (沖縄赤十字病院 てんかんコーディネーター)

13:30～14:00 講演：てんかんに対する公的支援  
饒波 正博 (医師/てんかんコーディネーター)

14:00～15:00 てんかんよろず相談

主催：沖縄てんかん拠点病院 参加費 無料

・緊急報告会：令和6年6月30日

演題：てんかん患者のための大麻由来医薬品/薬物/食品の活用を可能にした大麻取締法の改正について  
 演者：秋野公造参議院議員

パネルディスカッション

題：カンナビノイド医薬品のこれから

座長：太組一朗(聖マリアンナ医科大学脳神経外科教授)

パネリスト

- ・正高佑志：脳神経内科医(一般社団法人グリーンゾーンジャパン代表理事・一般社団法人日本臨床カンナビノイド学会副理事長)
- ・林明子(日本てんかん協会沖縄支部)
- ・秋野公造参議院議員
- ・第29回沖縄てんかん研究会：令和6年9月6日

・てんかん協議会(ZOOM開催)

- ・第1回：令和6年9月26日(18:30～)
- ・第2回：令和7年3月13日(18:30～)予定

**第29回沖縄てんかん研究会  
(現地開催+WEB配信)**

参加費：1000円(半年会員500円含む、現地会場参加の先生)

2024年9月6日(金) 19:00～20:45

【開会の辞】19:00～19:05 琉球大学医学部脳神経外科学講座 教授 浜崎 禎 先生

【一般演題】19:05～19:25  
座長：沖縄協同病院 院長 伊治 広二 先生  
「沖縄赤十字病院のてんかん診療」  
演者：沖縄赤十字病院 脳神経外科 医中 逸平 先生

【ミニトーク】19:25～19:45  
「活性化型ビタミンB6とてんかん」  
演者：琉球大学大学院医学研究科育成医科学講座 仲村 貞郎 先生

【特別講演】19:45～20:35  
座長：和花クリニック 院長 大府 正治 先生  
「ビデオ脳波から考える小児てんかん」  
演者：武蔵小杉小児科・てんかんクリニック 院長 日暮 善通 先生

【閉会の辞】20:35～20:40 天久台病院 診療部長 前川 敏彦 先生

\* 本会は小児神経専門医研修地位の認定を受けております。  
 共催：沖縄てんかん研究会・沖縄赤十字病院